Active

Vol.2

入社案内

株式会社大盛工業

Interview

※掲載している勤続年数は、
インタビュー時の勤続年数です。

志田 心之輔

土木部（入社1年目）

たくさん失敗して、たくさんの学びを

就職を大盛工業に決めた理由

私は就職活動の際にいくつかの会社に関心を持っていましたが、そのなかでも特に大盛工業の印象が良いと感じていました。理由は職場見学に行った際、とても雰囲気が良かったことと、担当してくださった方がとても丁寧に接してくれたことです。実際に入社してみてもギャップはなく、毎日楽しく業務に取り組んでいます。

大盛工業で叶えたい夢

私の叶えたい夢は、現場の所長になることです。現在はまだ入社１年目ということで自分の仕事をミスなくこなすことを大事にしていますが、今後は土木施工管理技士の資格を取得したり、先輩方の姿から色々なことを吸収したりして、現場をまとめられる存在を目指していきたいです。

新卒に向けてメッセージ

入社してすぐは分からないことが多く、勉強の毎日が続くと思いますし、ミスをしてしまうこともあるかもしれません。しかし、新人社員はそれが仕事です。ミスをしたら、そこから学んで次に活かしていくことができれば大丈夫です。社会人になること自体が大きな変化ですし、最初は慣れないことばかりだと思います。そんなときは私たち先輩社員に相談してください。慣れてくるととても楽しい仕事だと思うので、一緒に頑張りましょう！

星沢 光貴

土木部（入社2年目）

人と人との協力によって成り立っている仕事

現在の仕事内容

現在、古くなった水道管を耐震性に優れた新しい水道管へと取り替える工事の監督業務を行っています。主に現場へ出て、協力会社の方々が安全かつ円滑に作業ができるよう指示出し等を行っています。作業員の方は年長者の方も多く、コミュニケーションをとることに苦労することもありますが、日々楽しく業務に励んでいます。

大盛工業で叶えたい夢

１級土木施工管理技士の資格を取得し、所長として自身で１つの現場を管理し、問題なく現場を完工させることが私の夢です。これからしっかり経験を積んだのち、結果をもって大盛工業に恩返しができるよう、頑張っていきたいです。

新卒に向けてメッセージ

この仕事は多くの人と人との協力で成り立っています。しっかりコミュニケーションをとることが仕事の成功に繋がります。最初は緊張すると思いますが、周りと話せるようになると仕事も楽しくなると思います。気負いせず、一緒に頑張りましょう。

飯沼 岳虎

土木部（入社7年目）

皆から信頼される所長を目指して

就職を大盛工業に決めた理由

就職活動の際、数ある求人票の中で、小さい頃から水遊びが好きだったせいか下水道に興味があったので、大盛工業を選んで応募前見学に参加しました。入社する前から会社の雰囲気がいいと噂で聞いていたのですが、実際に入ってみても社員みんなの仲が良く、楽しく仕事ができています。

大盛工業で叶えたい夢

私は、30 代前半で所長になることを目指しています。必要な資格を取得したのち、自分の現場を持ち、それを無事完了させるという経験をしたいです。所員皆から信頼されるような所長になることが今の目標です。

新卒に向けてメッセージ

社会人になると、嬉しいことや辛いこと、多くの出来事が待ち構えていると思います。困ったときは、身近な先輩、上司に相談してみてください。きっと力になってくれるはずです。色々な経験を積みながら、一緒に頑張っていきましょう。

日々の積み重ねが、成長に繋がる

白鳥 祐真

土木部（入社2年目）

就職を大盛工業に決めた理由

私は中途で大盛工業に入社したのですが、職場環境が整っていると感じたのが入社を決めた理由の1つです。福利厚生や給与面もしっかりしており、転職活動の際に対応してくれた方もとても丁寧にあたたかく接してくださいました。実は前職で全く違う仕事をしていた私ですが、大盛工業で充実した毎日を過ごすことができています。

大盛工業で叶えたい夢

目標に近いのですが、私の夢は所長になること。土木の知識がほとんどないなかで入社した私でも、業務を通じてしっかり学び、成長することで所長になれるということを体現したいと思っています。もちろんすぐに叶う夢ではありませんので、今後たくさんの経験を積んでいきたいです。

新卒に向けてメッセージ

社会人になると自分の時間をとることがなかなかできなくなってしまいます。学生でいるうちは、しっかりその時間を楽しむことも大切だと思います。もちろん社会人になるための心構え、準備もしっかりしておいてください。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

コミュニケーションがとりやすく、楽しい会社

下山田 駿太

土木部（入社1年目）

就職を大盛工業に決めた理由

私は工業高校に通っており、土木系の仕事を探していましたが、ピンとくるところがありませんでした。そのなかで、大盛工業の名前を見つけました。水道と下水道の工事は珍しいと思い、職場見学に行ってみたところ現場の雰囲気がとても良いと感じました。この会社であれば私も楽しく仕事が出来そうだと思い、大盛工業に決めました。

大盛工業の魅力

社員同士のコミュニケーションが活発なところです。大盛工業は、年齢や社歴を問わず、話しやすい環境だと思います。仕事の話はもちろんのこと、プライベートな話をすることもあるので新入社員や若手社員にとっても非常に居心地の良い環境だと感じます。また社内でのイベントがあるので、他作業所の同期や同世代の社員ともコミュニケーションをとることができています。

新卒に向けてメッセージ

社会人１年目は分からないことばかりなので不安になるのは当然です。まずはメリハリをしっかりつけて、気負いしすぎずに頑張っていきましょう。

仕事の成果が自分に返る

就職を大盛工業に決めた理由

私は大盛工業に、知人の紹介で中途入社しました。入社を決めた理由は、仕事にやりがいがありそうだと思ったことと、新しいことにチャレンジしてみたいと思ったことです。私は土木未経験で入社しましたが、研修や先輩方の丁寧な指導のおかげで少しずつですが知識を深めることができ、日々の業務に楽しく励むことができています。

大変だったことや苦労したこと

現在担当している現場が都道の作業のため他企業も作業をしており、調整に苦労しています。当初は調整が上手くいかず休工になってしまうこともありました。今は他企業の工程担当の方と打ち合わせを行ったり、現場担当間でも現地での作業箇所の確認を行ってもらったりしながら、ミスの無いよう施工することを心がけています。

新卒に向けてメッセージ

現場での仕事内容は多岐にわたっているため、対応能力が必要です。最初は色々と苦労することが多いと思いますが、先輩方と協力し現場が竣工したときには大きな達成感を得ることができます。困ったときは助け合い、一緒に頑張りましょう！

藤田　さくら

土木部（入社4年目）

佐藤 瑞生

土木部（入社6年目）

各現場にそれぞれの色があること が魅力

就職を大盛工業に決めた理由

私は東北出身なのですが、進路相談の際に東京で就職したい旨の希望を話したところ、担当の先生に紹介されたのが大盛工業でした。過去に先輩も就職している話も聞き、安心感を覚えてこの会社に決めました。

現在の仕事内容

土木部所属です。現場監督として、現場の記録写真を撮影して確認作業をしたり、協力会社の方たちへの指導をしたりしています。
今は皆さんを束ねる立場なので、コミュニケーションが一番大事だと考えています。中には、父や祖父と同年代の方もいらっしゃるので、最初は戸惑うことも多くありました。今は、経験値を尊重して段取り良く話を進める、などの努力を重ねることで、悩むこともなくなり、現場の仕事が以前よりスムーズに進むようになりました。

大盛工業の魅力

各現場に色があることだと思います。もちろんのこと各現場にそれぞれ所長がいるので、現場の雰囲気や仕事の進め方は様々です。作業所が異動になると、色々な仕事のやり方、進め方を目にすることができるのでとても勉強になります。

私の1日のスケジュール

- 07:30 出勤
- 08:00 職員朝礼
- 08:15 現場朝礼
- 09:00 現場作業開始
- 12:00 昼食
- 13:00 現場作業再開
- 16:00 現場作業終了
- 16:30 書類作成など
- 17:00 退勤

新卒に向けてメッセージ

現場は、協力会社の方を束ねていくための努力を重ねていくことが必要です。私もときに喧嘩もしながらここまでやってきました。「自分に負けちゃダメ！！」って言いたいです。（笑）
また、最初は失敗が続くこともあると思いますがめげずに頑張って、より多くのことを吸収できるように頑張ってみてください。

役員に聞く

日本を守り続けてきた大盛工業の思いは未来永劫

代表取締役社長
福井　龍一

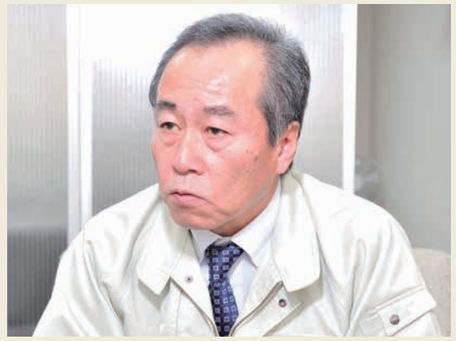
私が大盛工業に入った当初は下水道を100%普及するということで、国を挙げて工事をやっていた時期で、とにかく忙しくて考える暇もなく次から次へと仕事をこなしていました。その後、会社の土木事業として上・下水道だけに特化してしまったために苦しい時期がありました。しかし、それだからこそ、現在の当社があると言えるのです。今でも下水道の大盛と言われるくらい、そのときに培ってきた実力が生きているのだと思います。

これから大盛工業に入る人達には、下水は生きることに直結していて、無くてはならない大きな存在だということを一番に認識してほしいです。私達がそれを守るのだという気持ちがあれば、多少の苦労も乗り越えられると思います。例えば震災の時、復旧する技術を持っていればそこで仕事ができます。自分達が日本を守るのだという意識を持ちながら仕事に取り組むことは大切です。

この会社は家族的な社風で、怒る時は真剣に怒ります。社員は家族の一員という意識があります。どこかで苦しんでいる社員がいたら助けてあげようという気持ちを社員一人一人が常に持っていると思います。
会社の教育については、ここまでお金をかけるのかと思うほどの研修もありました。創業時の社長の親心で、若い社員に色々な勉強の機会を与えてくれたのだと思います。
そこはファミリーの一員として勉強して次を担ってほしいという気持ちがあったからこそであり、そういった家族的な絆が今の大盛工業を支えているのだと思います。

土木の学校を出ていなくても、面白そうだと思えばこの会社に入って、頑張って資格を取ってほしいです。最初の2、3年は大変かもしれませんが、それほど難しい仕事ではありません。やる気の問題です。中途採用もありますが、その90%は異業種だった人達です。みんな前向きに、楽しく仕事に取り組んでいます。

人が企業を作る。発展に必要なことは優れた人材を育てること。



取締役
織田　隆

私がこれまで大盛工業で働いてきて強く感じたのは、一人前になるために一番大事な要素は高い目標を持って仕事をするということです。目標を持つことが成長する鍵であると思います。また、一番成長させてくれるのはトラブルです。役所や住民、現場等との、どうにもならないトラブルを乗り越えると驚くほど成長します。トラブルなしで生きている人は成長しません。だからトラブルがあるとチャンスだなと思います。それを分かるまで頑張れる忍耐強さとプラス思考を持つ人がこの会社が必要とする人材です。

私はこれまで、現場が完工して、3回儲けたら国内4泊5日、5回儲けたら世界どこでも10日間行かせていただくという体験をしてきました。今でも会社では、現場が終わって利益を出せば、そこの現場の職員に報奨金というものを出しています。頑張れば頑張るだけ自分に返ってくる会社であり、みんなで儲ければ自ずと会社にも利益が出るため、大変やりがいのある会社です。
また、徹底した研修や現場での教育があったおかげで、ここまで続けてこられたという思いがあります。

その体験から思うことは、企業は人だということです。だからいかにいい人材を作り上げていくかが大事だと思っています。私は、恵まれた環境の中で教育を受けたおかげで、培ったものが自分の中にたくさんあります。それを活かすためにも、授かったものを伝えながら後継者を作っておかないといけないと思います。私がいなくなった時に私の代わりに仕事をやってくれる人間がいないと、継続していきません。会社は常に発展していかなければなりません。結局は人なので、優れた人材を作っていくのが我々の仕事であると思います。

株式会社大盛工業

[本　社]
〒101-0046 東京都千代田区神田多町二丁目1番地神田進興ビル8階
TEL.03-6262-9877（代）　FAX.03-6262-9875